資料５

先進自治体の図書館について

大和市文化創造拠点　シリウス

◆施設のコンセプト

子どもから大人まで、芸術文化や生涯学習の素晴らしさ、新しい知識・人々との心弾む出会いをお届けし、一体感を生み出す場。

◆図書館の特徴

・くつろぎながら本に親しむ「健康都市図書館」

・午前中は、高齢者層が中心に新聞や雑誌コーナーを利用。午後は多くの学生が学習室を利用。

・市民講座が頻繁に開催され、生涯学習施設として若者から高齢者、子育て世代が利用している。

・図書館は、「静かにする場所」というイメージがない。

・独居老人に足を向けてもらうことや、子育てに必要な知力と体力の育成に特化している。

◆市内図書館（蔵書数）

中央林間図書館（3万6千冊）、渋谷図書館（6万冊）、シリウス（48万2千冊）の３館

【神奈川県大和市の状況】

人口２４２，３００人（R4.8大和市HPより）

蔵書数４８２千冊、年間受入図書冊数（購入）１１，６６９冊、個人登録者数１３２.６千人、個人貸出数　６７１千点、予約件数２６５.１千件、図書館費予算額５６５，１５５千円、資料費４０，０３４千円（「２０２１日本の図書館」日本図書館協会より）

◆施設概要

図書館、ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設。

１Ｆ　感動が生まれる　感性と創造の場

メイン・サブホール、カフェ、新刊図書コーナー

２Ｆ　楽しく語り集う市民交流のフロア

図書館、市民交流ラウンジ、市窓口

３Ｆ　思い切り遊んで学ぶ　大和こどもの国

こども図書館、保育室、ちびっこ広場等

４Ｆ　くつろぎながら本に親しむ　健康都市図書館

図書館（マンガ、雑誌コーナー）、
健康コーナー、健康テラス等

５Ｆ　調べて学ぶ図書館

レファレンスカウンター、読書室、地域資料コーナー

６Ｆ　仲間と集い学ぶ　生涯学習センター

市民交流スペース、調理室、スタジオ

２Ｆ 市民交流ラウンジ

４Ｆ 健康コーナー・健康テラス

３Ｆ こども図書館

４Ｆ
閲覧席

5Ｆ 地域資料コーナー

5F　レファレンスカウンター

※写真は、シリウスパンフレットより

ひと・まち・情報創造館　武蔵野プレイス

◆施設の理念（抜粋）

図書館、生涯学習センター、市民活動センターなど、これまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報を共有しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会の活性化を深められるような活動支援型の公共施設を目指す。

◆武蔵野プレイスの特徴（機能）

・図書館機能・・・・・・滞在型の図書館

・生涯学習支援機能・・・さまざまな学びの欲求に応える。

・市民活動支援機能・・・市民活動の「出会い」と「場」

・青少年活動支援・・・・居場所づくりから地域へ

◆市内図書館（蔵書数）

・①中央図書館（66万7千冊）、②吉祥寺図書館（10万1千冊）、③武蔵野プレイス（18万4千冊）の３館。
上記②と③は、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団により指定管理運営。

【東京都武蔵野市の状況】

人口１４８，３７８人（R4.8HPより）

蔵書数　１８４千冊、年間受入図書冊数（購入）９，４５８冊、個人登録者数（３館）１９０．７千人、個人貸出数８０１点、予約件数３５.６千件、図書館費予算額（３館）５５０，８９６千円、資料費８８，４７３千円（「２０２１日本の図書館」日本図書館協会より）

◆施設概要

図書館、生涯学習センター、市民活動センターなどを備えた複合施設

B２Ｆ ティーンズスタジオ

青少年向けの図書・雑誌、１９歳以下が自由に使えるラウンジ、オープンスタジオ等

B１Ｆ メインライブラリー

図書館、サーチバー（ネット検索、オンラインデータベースの閲覧、地域映像アーカイブ視聴）

１Ｆ　パークラウンジ

マガジンラウンジ、カフェ、ギャラリー

２Ｆ　コミュニケーションライブラリー

児童図書、おはなしの部屋、テーマライブラリー

３Ｆ　ワークラウンジ

スタディコーナー（読書、調べもの）、市民活動情報コーナー、ワークラウンジ（オープンスペース）

４Ｆ　ワークテラス

ワーキングデスクは、書斎的なスペース（４０席）

※上記写真は、武蔵野プレイスＨＰより借用

スタジオスラウンジ　B2F

メインライブラリー　B１F

こどもライブラリー　２F

おはなしのへや　２F

市民活動情報コーナー　３F

スタジオスラウンジ４F

官民複合施設オガール　紫波町図書館

◆施設のコンセプト

「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館

1　あらゆる「知りたい」に応え、潜在的、将来的な利用を見据えた情報を提供します。

2　「学びたい」に応え、活力あるまちづくりに役立つ情報や、町民が自力で課題解決するための情報を提供します。また、まちの歴史・風土・文化に出会い、発信する場を提供します。

3　「遊びたい」に応え、知的好奇心を満たし、文化的、娯楽的活動などによる新しい創造と交流が生まれるための情報を提供します。

◆図書館の特徴

基本サービス（貸出、レファレンス）の充実のほか、

①子どもたち（０歳から高校生まで）と、本をつなぐ。

②紫波町に関する地域資料を収集、保存する。

③紫羽町の産業支援をする。

紫波町図書館は、官民複合施設「オガールプラザ」の情報交流館内にあり、行政と民間がパートナーを組んで事業を行うPPP（Public　Private Partnership）により建設。図書館は、直営と一部NPO法人に業務委託している。

【岩手県紫波町の状況】

人口３３，０２４人（R4.9紫波町HPより）

蔵書数１０６千冊、年間受入図書冊数（購入）７，１０７冊、個人登録者数１９，９７２人、個人貸出数２１５千点、予約件数７，３８７件、図書館費予算額３６，５５５千円、資料費６，７７０千円（「２０２１日本の図書館」日本図書館協会より）

フロアガイド

ほんナビ
図書館にある本・雑誌・CDなどを
探すことができます。

コピーサービス
図書館の資料に限り、コピーができます。
ただし著作権法の範囲内です。
白黒A3、A4　1枚10円　※要申込

レファレンス・カウンター
調べもの、探しものの専用相談カウンターです。
お気軽にスタッフへおたずねください。

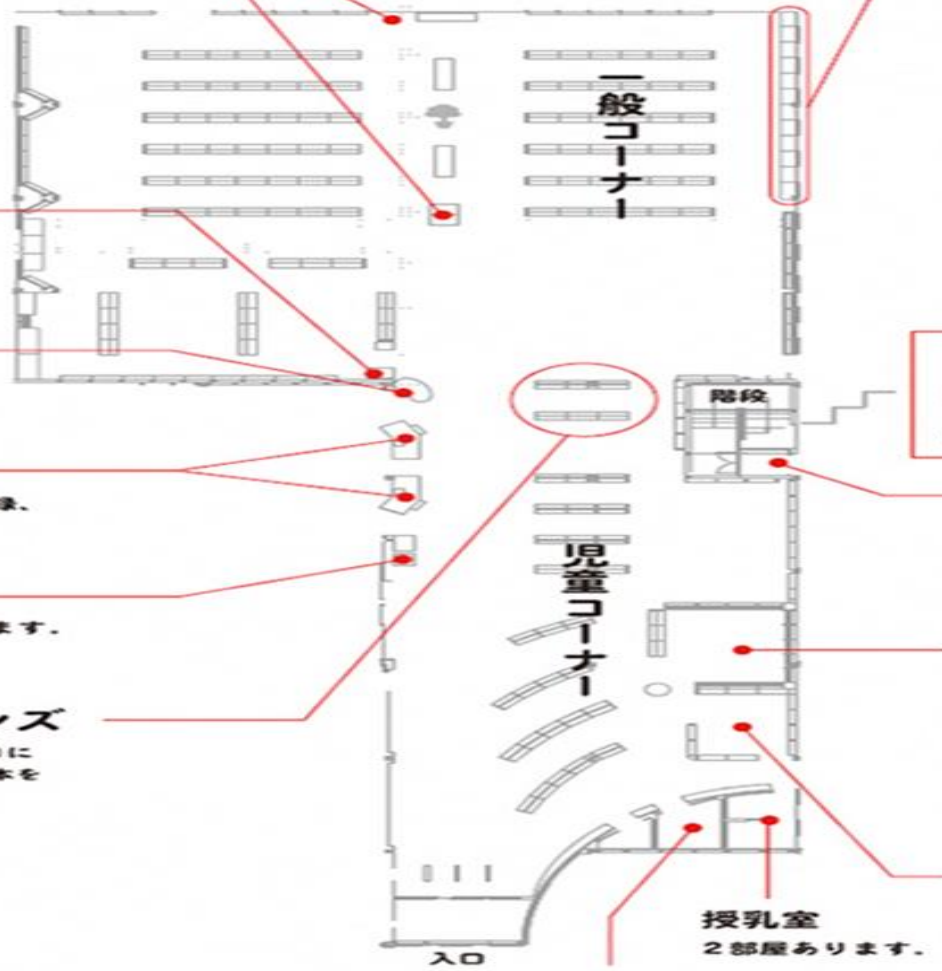
カウンター
本・雑誌・CDなどの貸出、返却、図書館カードの登録、
各種お申込みの受付を行います。

自動貸出機
図書館カードを使って、ご自分で貸出手続きができます。

ティーンズ
10代(中高生)に
読んでほしい本を
集めました。

インターネット検索
インターネットを使って調べものができます。
パソコンを持ち込む方は、無線LANを
ご利用いただくことができます。　※要申込

データベース検索
農業、法律、過去の新聞記事など
特定分野の調べものができます。　※要申込



飲みものOK

閲覧カウンター席
飲みものを飲みながら、読書ができます。

2F 読書テラス
飲食OK

2Fの見晴らしのよい空間で
図書館フロアやオガール東広場を望みながら
ゆっくり読書ができます。
図書館から本の持ち込みもできます。

飲みものOK

2F
読書テラス
学習室
(中スタジオ)

学習室
約30席の学習室として
利用できます。
持ち込みの自習はこちらで
どうぞ。

ブックポスト
図書館がしまっているとき
本・雑誌を返却するポスト。
アーケードから入れられます。
※CD・DVDはカウンターへお願いします。

おはなしのへや
おはなし会や読み聞かせをするおへや。

あかちゃんのへや
あかちゃんから未就学児までの絵本と
子育て情報などを集めたおへや。

授乳室
2部屋あります。

こどもトイレ
小さいお子さんのトイレ。
大人用トイレは
交流館にあります。

※上記写真・図面は、紫波町図書館ＨＰより

瀬戸内市民図書館　もみわ広場

◆施設のコンセプト

「もみわ広場」とは、「もちより・みつけ・わけあう広場」の頭文字をとったもの。

　暮らしや仕事、また夢や未来を考える中で生まれた疑問を「もちより」、その解決方法や展望を「みつけ」、そして、そうした気づきや発見を図書館に集う市民の皆さんと「わけあう」ことのできる、そんな広場を目指します。

◆図書館の特徴

・もみわカフェ・・持ち込みの飲み物や食事ができ、雑談や打ち合わせを行うスペース

・eラーニングルーム・・放送大学を無料で受講

・瀬戸内発見の道・瀬戸内市の今、そして文化と歴史を紹介する地域郷土史資料スペース

・せとうちまーる号のいえ・市内の全保育園を月１回巡回し、お話し会や絵本の貸し出しを行う。また、月１回、１５カ所の高齢者施設を巡回する「いきいきお届け便」がある。

【岡山県瀬戸内市の状況】

人口３６，５５３人（R4.9瀬戸内市HPより）

蔵書数１３５千冊、年間受入図書冊数（購入）９，２５４冊、個人登録者数　１２，４００人、個人貸出数２７４千点、予約件数１５，７００件、図書館費予算額６１，５６６千円、資料費２２，４１１千円（「２０２１日本の図書館」日本図書館協会より）

【１F】

館内の様子

読書テラス

せとうち発見の道（地域郷土史資料スペース）

もみわカフェ（食事・飲み物は持ち込み）

つどいの広場（通常は学習スペース）

静寂読書室・代読室

せとうちまーる号のいえ（保育園等の巡回車）

eラーニングルーム（放送大学を無用で受講）

※上記写真は、瀬戸内市民図書館ＨＰより

【２F】

商用オンラインデータベース利用可能

学生、社会人のための自学スペース

チャットルーム（グループ学習などに使用）

◆市内図書館（蔵書数）

・①瀬戸内市民図書館（13万5千冊）、②牛窓図書館（2万9千冊）、③長船図書館（2万1千冊）の３館。

先進図書館に共通すること

○図書館単体ではなく、図書館、ホール、生涯学習施設、カフェなどの複合施設であること。

○フタが付いた飲み物を自由に持ち込むことが可能で、館内で食事をとるスペースを設けている。

○「図書館＝静かにする場所」から、「図書館＝会話ができる（にぎやかな）場所」に変化している。
※令和４年８月にオープンした石川県立図書館は、「会話ができる図書館」として、サイレントルームを除き、館内でのおしゃべりや携帯電話等の利用も可能な図書館。

○人と人が交流できるスペースがある。

○子どもから大人まで学習するスペースを確保している。
※サイレントルームの設置や、机と椅子をオープンスペースに並べた方式など。

○市民サークルが活動できるスペースを確保している。

○人や地域の役に立つ、使える図書館、人と人が交流できる図書館を目指している。

○本を借りて帰る場所というより、滞在型に移行している。